

樟葉北小学校紹介

樟葉北小学校 校長 岡 章子さん

樟葉北小学校は、令和8年度で創立48年を迎える学校です。

昭和54年4月に枚方市立樟葉小学校より新設分離されて開校し、創立当時は児童数765名、18学級でスタートしました。

平成30年度頃には全校児童数が274名まで減少した時期もありましたが、現在は340名の児童が在籍しており、近年の中之芝地区の宅地開発により今後も児童数は益々増加の傾向にあります。

本校は枚方市の北に位置し、校区の北東は八幡市に接しています。沿革誌を紐解くと、市民の森の「鏡伝池」と「のぼり池」は「天満川」で繋がりを淀川へと流れ込んでいたことがわかり、時代とともにこの辺り一帯の耕地が次第に住宅地となったことにより、灌漑（かんがい）用としての機能を終えた「のぼり池」が埋め立てられ樟葉北小学校の用地となったことが記されています。

現在も学校の北西に位置する「天満川緑道」に「天満川」の名残を感じ、本校正門の横には、建設当時の学校建設に伴う発掘調査で発掘された「樟葉登池遺跡」についての説明版が設置されています。

本校は学校目標を「自ら学び 自ら考え 認め合う子どもの育成」と掲げ、この学校目標の達成に向けて「努力する子ども」「考える子ども」「思いやりのある子ども」をめざす子ども像とし、日々教職員が一丸となって教育活動に取り組んでおります。平素より、保護者の皆様や地域の皆様には本校の教育活動にご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

これからも、保護者の皆様や地域の皆様とともに、校区の子どもたちとともに育んでまいりたいと思っております。今後とも変わらぬご支援賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



枚方市キャラクター
「ひこぼしくん」



青少年育成指導

ひこぼしくん

広報第183号
令和7年10月1日
発行：
枚方市青少年育成
指導員連絡協議会

青少年育成指導員とは

44小学校区約360名が活動中！

各校区のコミュニティ協議会からの推薦を受け、枚方市長が委嘱する「特別職の非常勤職員」です。
青少年の健全育成と非行防止に努めています。また、各種団体（PTAや自治会）とも連携し、パトロール活動や青少年に関する活動、こども110番の家の取りまとめなどを行っています。



小倉校区紹介

小倉夏のフェスティバル開催

予想最高気温38℃、降水確率0%。今年一番の猛暑日になりそうな8月2日に小倉夏のフェスティバルが開催されました。屋台の出店は、民生・福祉委員、スポーツ推進委員、PTA、子ども会、PTA0B、ボランティア団体、そして私たち育成指導委員とキッチンカーが1台入ります。

まだ日が高い17時。アンパンマン音頭による販売開始合図と同時に走る子どもたちの歓声が、お祭りを盛り上げていきます。18時からの式典では、やぐらの上に登壇された伏見市長や来賓の方々からの元気いっぱいの「ゲキ」に、会場は最高潮に盛り上がっていました。その後、生歌による河内音頭の盆踊りが始まり、21時の閉会まで老若男女が楽しい夏の日を過ごしました。

私たちも、今年は全員空調服を揃えたおかげで熱中症にもならず、焼きそば600食を無事完売して充実した一日となりました。

楽しそう！
僕も参加したい！



禁野校区紹介

林間学習

禁野小学校では毎年、5年生が林間学習でマキノ高原へ出かけます。

広い高原でクラスごとに鬼ごっこをしたり、だるまさんが転んだなど、笑顔がいっぱい。

たっぷり遊んだ後は、川で魚つかみ体験をしました。ヌルヌルとした感触に、ワー！キャー！と大騒ぎ。獲った魚を焼いてもらい、みんなで食べました。焼きたての魚はホクホクで、普段苦手な人も美味しく食べられたようです。

夕食後にキャンプファイヤーを行いました。歌やクイズなど、炎を囲んでの活動は学校ではできないとても貴重な体験です。

そして、キャンプファイヤーの後には夜のマキノ高原のお散歩です。カエルの合唱を聞きながら田んぼ道を歩き、夜の暗さを感じていました。

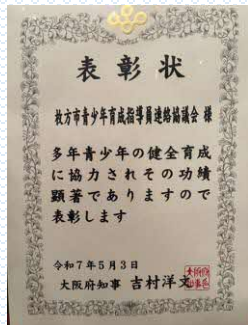
子ども達の大きな成長が見られた2日間の林間学習でした。

僕も一緒に林間学習したい！



令和7年度 憲法記念日知事表彰受賞

令和7年5月7日（水）10時30分～
大阪府立国際会議場



「枚方市青少年育成指導員連絡協議会」が表彰されました

みんなの
努力の結晶だねー



枚方市少年非行・被害防止 街頭啓発キャンペーン

令和7年7月7日（月） 17時30分～18時10分
京阪「枚方市駅」周辺



うちわ300個とティッシュ700個を配布しました。

参加者：計27名

- ・防犯協議会会長 1名
- ・枚方警察署職員 2名
- ・青少年育成指導員 17名
- ・枚方市職員 7名



みんな、暑い中
ご苦労様です！



発行：枚方市青少年育成指導員連絡協議会

広報委員長：山本 智久

広報委員：竹安 俊幸、坂本 剛、大林 康二、
田中 伸明、辰野 誠

事務局：枚方市役所 子ども未来部 子ども青少年政策課
☎072-841-1375 FAX072-843-2244

青少年育成指導員について詳しく知りたい方は、
枚方市ホームページをご覧ください。
活動内容や広報紙を掲載しています。



<https://www.city.hirakata.osaka.jp/0000006808.html>

夏休みパトロールを実施 (地域の安全・安心を再確認)

樟葉西校区紹介

くずは交番のお巡りさんを含め、地域住民ら40名以上が参加した夏休み夜間パトロールを、7月25日、8月1日、8月25日の3回にわたって行いました。

コミュニティ協議会、自治会、福祉委員会、防犯協議会、民生・児童委員、青少年育成指導員、小中学校の校長先生など、様々な立場の人々が参加。各々が誘導灯や懐中電灯を手に、20時から約1時間、地域の安全を見守りました。

パトロールでは、地域の危険箇所の把握や交通安全の確認、不法な掲示物のチェック、ゴミの不法投棄、街灯の点灯状況の確認などを行いました。また、夜間に子どもたちを見かけた際には「こんばんは」と声をかけました。

参加者からは、「夜間に子どもたちを見かけることはほとんどないが、パトロールを続けることで犯罪の抑止力になっている。」との声や、「地域の方々と一緒にパトロールすることで、日頃あまり話す機会がない人ともコミュニケーションが深まった」という声が聞かれました。

あいにく8月8日は雨天のため中止となりましたが、引き続き地域の安心・安全を守ってまいります。

枚方第二校区紹介

8月23日に夏季パトロールを実施しました。非常に蒸し暑いなか、枚方第二小学校校区の主だった公園を確認するコースで実施しました。所要時間は約一時間です。

21時に枚方市駅前のT-SITEを出発し、賑やかな駅前を通り過ぎると住宅街は静かなみちのりが続きます。公園には夏休みも終盤だからか、数人の若者達がいるところもありましたが、「こんばんは」と声をかけると挨拶を返してくれました。「遅くならないように」と声かけをして、パトロールを続けました。小学生は見当たらず、無事パトロールを終えることができました。

各校区パトロール実施活動



雑感

今年は、EXP02025大阪・関西万博が開催され、テレビ・ニュースでも取り上げられ目に入る機会も多いと思います。万博会場に行きましたが、パビリオンでは未来の生活の様子や海外の文化に触れることができ、とても楽しかったです。

活動している中で、子どもたちから「万博に行ったよ」という話を聞き、子どもたちは色々な事を学び、とても楽しんだ様子でこちらも楽しい気持ちになりました。

地域の一員として、微力ながら子どもたちの育成を担う活動を行っていききたいと思います。

編集後記

山田校区の青少年育成指導員はいきいき広場を運営していて、様々な方々のご協力を頂いてプログラムを組んでいます。

その中で意外と子ども達にうけているのが、昔ながらの折り紙や紙飛行機、紙鉄砲を作って遊ぶプログラムです。

昨今では遊びといえばゲーム機器の進化により、デジタル一色の遊びが主体になっていたのですが、その中でアナログな「昔遊び」がうけている様です。

作っていく過程を学んで出来上がった物で遊ぶといった達成感を得られるのが非常に良い事だと感じています。これからもこの様な遊びを大切に運営していききたいと思います。

東香里校区紹介

校区防災訓練

東香里校区では、コミュニティ協議会主催により毎年1回の防災訓練を実施しています。

今年度は8月31日、東香里小学校で、小学校児童含め校区内にお住まいの一般参加者約150名の参加により、消防署・消防団・枚方市職員の指導を受けながら、防災に役立つ様々な体験を訓練として実施しました。

消火器



水消火器を使用しての消火訓練。伏見枚方市長も一緒に体験されました。

避難所設営



避難所用のベッドおよびパーティションの組立。4～5人が協力すれば、2～3分程度で簡単に組み立てが完了します。

地震体験



地震車による、地震の体験訓練。体験した方々は、震度7の激しい揺れに驚いていました。

煙道



煙道体験訓練。煙で視界が遮られた中を、身をかがめながら慎重に通り返します。

心臓マッサージ体験・AED講習



心臓マッサージの訓練。消防団員の指導により、参加者のほとんど全員が、心臓マッサージの体験をしました。



低学年児童も挑戦。効果的に胸骨を圧迫するのに、かなりの力が必要と感じました。

訓練後、消防署からは「災害時はSNS等のデマに惑わされずに公式情報を見てほしい」「災害発生時は、様子を見たりスマホ撮影したりするのではなく、行動することが重要」「災害時には三日間は自力で生き延びるための備えを普段から考えた自助努力をしてほしい」などのアドバイスを頂きました。

訓練を終えた小学校児童の感想として「普段できない貴重な経験ができた」「災害時には助け合いや協力が必要と感じた」などの発表があり、有意義な防災訓練になったと感じました。